

(単位:千円)

(株)仁多堆肥センター 【設立年月日】 H13.4 【資本金】 30百万円 奥出雲町:30(100%) ※決算月3月(4/1~3/31)		H15	H16	H17
	流動資産	34,416	32,615	32,745
	固定資産	300	180	60
	流動負債	4,547	2,587	2,564
	固定負債	0	0	0
	売上高	23,139	23,959	25,446
	資本金	30,000	30,000	30,000
	累積利益(当期利益)	169(39)	209(40)	240(31)
	町からの補助金等	0	0	0
	町への寄付金	800	3,000	700

### ③ 奥出雲酒造株式会社

「仁多米」を活用した酒類の製造・販売を中心に経営しているが、全国的に日本酒の愛好者や消費量の減少に伴って販売も伸び悩み傾向にあり、現在保有する商品の販売促進を図るために全国チェーン店や都市部の百貨店、また通信販売などの積極的な営業活動が極めて急務である。

尚、酒の消費動向を見極め製造と販売のバランスを考えると共に、経費の節減等の経営の効率化も図りたい。

一方、この度国土交通省から「道の駅」に指定されたことで、入

館者の拡大も期待されるが、更に玉峰山荘との連携を強化し、利用客を取り込むための魅力ある店舗展開の努力も必要である。



▶ 新しく道の駅として登録された「酒蔵 奥出雲交流館」

(単位:千円)

奥出雲酒造(株) 【設立年月日】 H15.10 【資本金】 10百万円 奥出雲町:10(100%) ※決算月9月(10/1~9/30)		H15	H16	H17
	流動資産	52,473	112,981	※決算月 平成18年9月30日
	固定資産	5,872	23,172	
	流動負債	6,618	67,961	
	固定負債	50,000	65,000	
	売上高	8,696	88,975	
	資本金	10,000	10,000	
	累積利益(当期利益)	202(15,593)	667(465)	
	町からの補助金等	0	0	
	町への寄付金	0	0	

### ④ 奥出雲交通株式会社

地域住民の重要な生活手段としての利便性の確保や旅客サービスに努めている。

しかし、依然として利用者の減少が経営に影響を与えており、現在は町及び県の支援も受けながら運行されているが、近年、県の補助基準も厳しくなっていることから更に路線別の乗客数の分析による路線の見直しやダイヤの改正、車輛の小型化等も視野に入れた経営の効率化を図り、町費の負担を軽減するよう努められたい。

また、旅行事業等の委託業務にも力を入れ